



地域を守るために、災害に備え意識を高める！ ～令和3年度「洪水対応演習」を実施～

令和3年6月10日(木)、利賀ダム工事事務所では、これからの本格的な大雨シーズンに備え「洪水対応演習」を行いました。

富山県南西部に大雨が降り、利賀川で災害が発生(護岸が損壊)したケースを想定し、タイムラインを展開しました。災害発生のおそれがあると判断した時点から、事務所内の災害体制を確保し、気象状況や河川の流量の把握、現場や被害状況の調査と応急復旧、関係機関や現地作業を行う業者との情報共有・・・、リアルタイムで発生する様々な事案に対し、いつ誰が何の作業を行うのかを確認していきます。



災害対策室であらゆる情報を集約



現地の交通規制状況をチェック





また、昨今のコロナ禍では感染予防対策が求められます。感染予防対策を踏まえた防災体制の事業継続を想定し、マスク着用はもちろんのこと、いわゆる3密を回避等のため人員を2班に分け、別々の会場(対策室)を設置し、対応にあたることとしました。

TV会議や情報共有システムを活用することで、双方による的確な指示・連絡システムを確保し、瞬時に情報共有が図れるようにしています。



TV会議により別会場にいる支部長との指示・連絡システムを確立



TV会議による別会場からの報告に対し指揮する支部長

職員全員が本番さながらの空気感の中、「地域を守る」という高い使命感を持って、このシミュレーションに取り組みました。様々な反省点が見つかりましたが、今後はこの反省点を改善するとともに、新しい技術や取り組みも加え、あらゆる事象に対応できるよう日頃から備えたいと思います。「備えあれば憂いなし」ですね！

